

NPO あだちの ^{わたち} 轍 だより

2011
7・8月

平成23年度げんき応援事業助成金 第1期交付団体決定!

協働パートナー基金審査会が開かれ、応募6事業すべてが採択、助成金交付が決定しました。

◆げんき応援コース(5団体決定/5団体申請)

No.	団体名	事業名
1	特定非営利活動法人日本バトントワリング協会	バトントワリング&ボンボン体験講習会イン足立
2	ボランティアグループ青い空の会	みんなで楽しく歌い語り合う会
3	足立サンソ友の会	呼吸機能障害の普及啓発と当事者の自立促進事業
4	足立区政の扉を開く区民の会	防災をテーマに協働のあり方を考える
5	燦燦会	独居老人支援のお楽しみ会事業

◆ステップアップコース(1団体決定/1団体申請)

No.	団体名	事業名
1	特定非営利活動法人レスポワール	相談室の設置改修事業

★第2期募集★ 申請受付中です!

応募締切: 7月29日(金) 17時

お問合せ: NPO活動支援係窓口

区役所中央館2階

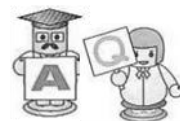
03-3880-5020

※相談・申請にお越しの際は事前に電話連絡ください。

まだ間に
合います
!!

「私たちの活動は対象かしら?」「書類の書き方がちょっと...」という団体の方も、どうぞお気軽にご相談ください。申請のお手伝いをいたします!

申請書類は窓口配布もしくは協働パートナーサイトからダウンロードできます。



専門相談員にきく 教えて先生! NPOマネジメント

Q. 質問: 子育て支援に取り組むNPO法人です。シニアの生きがいづくり活動をしている団体と連携して、行政の委託事業を開始する予定です。その事業は、連携先の団体から子育てを終えたベテラン主婦を紹介してもらい、孤立しがちな子育て中のお母さんたちのリフレッシュの場をつくるというものです。

連携先の団体は法人格を持たない団体です。事業遂行にあたって、連携先の協力が不可欠なのですが、先方の団体との間で、契約書や覚書を交わしておいたほうが良いのでしょうか。その他、団体との連携にあたって、こういったことに留意すべきでしょうか。教えてください。

A. 回答: 足立区NPO専門相談員 中小企業診断士 睦好 正治 先生

連携先から協力を引き出すには、信頼関係を構築することが重要です。そのためには、お互いの違いを認め、話し合い、お互いができること・できないことを理解する必要があります。実際に連携先の活動を見学すれば理解が深まります。さらに、相手の活動の利用者や受益者から話を聞くことも大切です。同様に自組織の活動についても相手に知らしめることも大切です。

このような方法で、お互いの強み弱みを知っておけば、連携による双方のメリットも見出しやすく、ともに協力して課題解決に向けた取り組みがスムーズになります。

ところで、法人格を持たない団体は法律上、代表者を中心とする個人の集まりとして扱われ、法律行為の主体になることはできません。だからといって、契約書や覚書を交わす必要がなくなるわけではなく、代表者など個人と交わすことになります。

連携先の代表者と交わす契約には、何のために連携をお願いしているのか、いつまでにどれだけの成果をあげるのか、そのためにはどのような方法で進めるのか、事業の趣旨や目的、双方の組織の役割や責任分担等について交わします。このような契約を協定と呼ぶ場合があります。労務の対価としての給与の取り決めなどは、実際に活動に携わる個人と契約を交わします。

専門相談は、団体運営の強い味方です! お気軽にご相談ください。※完全予約制

◆一般財団法人 草の根事業育成財団 平成23年度 草の根育成助成

【応募資格】島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動法人(社団法人、任意団体等を含む)
【助成対象事業】島しょ部を除く東京都で行われる①医療福祉分野または②スポーツ分野における調査研究事業
【助成金】1事業あたり50万円を上限
【応募期間】平成23年7月1日～平成23年7月31日
【掲載サイト】<http://www.kusanoneikusei.net/>
【助成対象期間】平成23年9月～平成24年3月の活動に対して助成
【申込・問合せ】一般財団法人 草の根事業育成財団
TEL:042-321-1132

◆大和証券福祉財団 平成23年度(第18回) ボランティア活動等助成

【応募資格】ボランティア活動を目的とした団体・グループ
【応募課題】特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動
【助成金】上限額 30万円(1団体当たり)
【応募期間】平成23年8月1日～平成23年9月15日
【掲載サイト】<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html>
【助成対象期間】平成24年1月～12月の活動に対して助成
【申込・問合せ】公益財団法人 大和証券福祉財団
TEL:03-5555-4640

機関紙は隔月発行です。リアルタイムな助成金情報入手のために、協働パートナーサイトの「助成金」のページをチェック、メールマガジンに登録しましょう！詳細は> <http://adachi-kyodo.genki365.net/> にアクセス！
または センターで助成金の申請書の書き方指導もできます。ぜひご来館ください。

イベント情報・お知らせ

【1】イベント「手作りポスターで区民に活動PR！」

完成品は、区役所中央館2階協働プラットホームに展示！

- 日時 9月3日(土) 13時～15時
- 内容 団体の活動を紹介するポスターを作成。作成後にポスターを囲み参加者同士の交流会を実施。

【2】「千客万来」のチラシ講座(全3回)

- 日時 9月24日、10月1日、10月8日
いずれも土曜日午後2～4時
- 内容 NPOのイベントや会員集めなど、チラシを使って人を呼ぶコツを学ぶ3日間。

- ◆会場 足立区NPO活動支援センター
- ◆対象 当センターに登録のNPO団体
- ◆参加費 無料
- ◆定員 各15名
- ◆お申込 電話・FAX・メールにて受け付けます
電話:03-3840-2331 FAX:03-3840-2333
メール:npo-sc@adachi.ne.jp
※お申込の際に下記を明記して下さい
参加希望の「講座、イベント名」、住所、氏名、年齢、電話、FAX、メールアドレス、その他知りたいこと

団体ポスター掲示情報【区役所中央館2階】

以下の団体のポスターを掲示中です。ぜひお立ち寄りください。
【7月】アジア・レインボー、足立たすけあいワーカーズつみき
【8月】IT支援センター、サザンさわやか倶楽部

NPO法人情報 (平成23年5月末現在)

- 足立区内に主たる事務所を置くNPO法人 158団体
- 足立区内に事務所を持つNPO法人 174団体
(東京都認証140団体/内閣府認証34団体)
- NPO法人認証数 東京都6901団体
全国42741団体

センターってどんなところ？

「活動が忙しくて」「事務所から遠くて」となかなかセンターに足を運べないという声をいただきます。センターを身近に感じていただくため、今回は相談スタッフの黒川さんにセンターでの相談業務について話を聞いてみました。

Q.センターに寄せられる相談はどのようなものが多いですか？

3月～6月にかけては、事業報告書の書き方や、NPO法人設立の仕方が多いですね。他の団体との連携についての相談もあります。

Q.相談の対応で心がけていることはありますか？

みなさんのお話をしっかりと時間をかけてお伺いし、課題を整理してから、お答えするようにしています。

Q.最近の相談の中で印象に残っている事例はありますか？

イベントで被災地支援の寄付金を集めた団体が、寄付先を探していました。足立区内の団体で、直接被災地の支援をしている団体に連絡を取り、センターで両者を引き合わせたところ、寄付をきっかけに、その後も協力しあえる関係作りのお手伝いができました。

Q.専門的な相談が多いと思っていましたが？

もちろん、NPOの経理や労務など専門家のアドバイスが必要な場合には、専門相談という仕組みがあります。詳しくは、センターまでお問い合わせください。
先ほどの事例のように他の団体との連携を必要としている団体にネットワークを提供することもセンターの重要な役割だと考えています。ぜひ、お気軽にご相談ください。



発行: 足立区NPO活動支援センター 足立区梅田7-13-1(梅田図書館1階)
TEL:03-3840-2331 FAX:03-3840-2333
Email: npo-sc@adachine.jp URL: <http://adachi-kyodo.genki365.net/>
担当所管 足立区 区民課 NPO活動支援係 TEL: 03-3880-5020

◆施設点検日(午後5時で閉館): 7/29、8/31